

No. 558  
2018年  
1月

# OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F  
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055  
<http://www.orsj.or.jp/>

## ● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、業績賞、実施賞、普及賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を毎年表彰しております。つきましては、今年度も候補者の積極的なご推薦を募ります。

### 推薦締切日

1. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：

2018年1月31日

2. 学生論文賞：2018年3月31日

推薦状は、学会HP <http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html> からダウンロードしてご利用ください。過去の受賞者一覧は学会HPに掲載しています。

### 〔研究賞〕

昭和43年（1968年）に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。

1. 本学会員であること。
2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。

授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞金50万円／1名）

### 〔研究賞奨励賞〕

若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、この年齢制限を超えていても構いません。授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年4名程度を表彰する予定です。（副賞金20万円／1名）

### 〔事例研究賞〕

ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

### 〔論文賞〕

2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて（非会員が含まれる場合も全員）を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。（副賞金30万円／1件）

### 〔学生論文賞〕

学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

（表彰委員会）

## ● 2018年春季シンポジウム（第78回）

日 程：2018年3月14日（水）

場 所：東海大学 高輪キャンパス（東京都港区高輪2-3-23）2B-101大講義室

テーマ：「データサイエンスの現在（いま）」

実行委員長：朝日弓未（東海大学）

シンポジウムHP：<http://www.orsj.or.jp/~nc2018s/index.php/symposium/>

### プログラム：

講演1：田島玲氏（ヤフー株式会社 Yahoo! JAPAN 研究所）

「ログからの機械学習とバイアスへの対処」

講演2：加藤公一氏（シルバーエッグ・テクノロジー株式会社）

「機械学習のマーケティングへの応用とその注意点」

講演3：長谷川孝博氏（静岡大学 情報基盤センター）

「データサイエンスを支える学術情報基盤の昨今」

講演4：神谷直樹氏（統計数理研究所）

「データサイエンティスト育成に関する現状と展望」

講演5：宇野毅明氏（国立情報学研究所）

「抽象化による理解しやすいデータ解析への展望」

**事前振込参加費 (3/5 (月) 締切) :**

正会員・賛助会員 : 3,000円

学生会員 : 1,000円

非会員 : 4,000円

\* 非会員の学生の事前振込みはありません。

\* OR誌1月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。

\* 欠席の場合、参加費の返金はできません。シンポジウム予稿集をお送りします。

**正会員特典利用 : 3/5 (月) 締切**

2018年度年会費納入済み個人正会員は、2018年春シンポジウムに無料で参加できます。研究発表会にも参加の場合は、上記の振替用紙の「**正会員無料特典利用**」を○で囲んでください。シンポジウムのみ参加の場合は、「正会員特典利用によるシンポジウム参加」を事務局宛にメールでお申込みください。

**当日受付参加費 :**

正会員・賛助会員 : 4,000円

学生会員 : 2,000円

非会員学生 : 2,000円

非会員 : 5,000円

\* 学生の方は受付で学生証の提示をお願いします。

**協賛学会 (正会員と参加費同額) :**

- ・日本経営工学会 (JIMA)
- ・日本品質管理学会 (JSQC)
- ・日本信頼性学会 (REAJ)
- ・研究・イノベーション学会 (JSRPIM)
- ・日本設備管理学会 (SOPE-J)
- ・経営情報学会 (JASMIN)
- ・プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

**参加費関連問合せ先**

OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

**● 2018年春季研究発表会**

日程 : 2018年3月15日 (木)~16日 (金)

場所 : 東海大学 高輪キャンパス

(東京都港区高輪2-3-23)

テーマ : 「発想の転換で広がるOR」

実行委員長 : 松井泰子 (東海大学)

研究発表会HP : <http://www.orsj.or.jp/~nc2018s/>

特別講演 : 3月15日

講演 (1) : 秋山仁 (東京理科大学)

「発想の転換で不可能を可能に」

講演 (2) : 交渉中

**発表申込み :**

2017年12月1日 (金)~2018年1月8日 (月・祝)

**事前振込参加費 (3/5 (月) 締切) :**

正・賛助会員 : 6,000円

学生会員 : 1,000円

非会員 : 8,000円

\* 非会員の学生の事前振込みはありません。

\* OR誌1月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。

\* 欠席の場合、参加費の返金はできません。アブストラクト集をお送りします。

**非会員の方、振替用紙をご利用でない方の申し込みと振込先**

メールタイトル「研究発表会参加費振込」

お名前、ご所属先、正会員/賛助会員/協賛学会員/学生会員/非会員、お支払い日を記入して日本OR学会事務局 E-mail : jimukyoku@orsj.or.jp

までご連絡のうえ、下記口座にお振込みください。

みずほ銀行根津支店 (店番号235) 普通1530801

口座名 : 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

シヤ) ニホンオペレーションズリサーチガツカイ

**登壇料 :** 非会員 (非会員学生を含む) の方が研究発表をする場合、参加費と別途、登壇料2,000円/件を頂戴いたします。(事前振込、当日お支払い同額です。)

**当日受付参加費 :**

正・賛助会員 : 7,000円

学生会員 : 2,000円

非会員学生 : 2,000円

非会員 : 10,000円

\* 学生の方は、受付で学生証の提示をお願いします。

**懇親会**

日時 : 2017年3月15日 (木) 発表会終了後

**事前振込参加費 (3/5 (月) 締切) :** 一律5,000円**当日受付がある場合の参加費 :** 一律6,000円

(懇親会は、原則、事前振込を予定しています。)

**賛助会員の方へ :**

1口につき1名様が研究発表会に無料でご参加できます。賛助会員受付にて名刺をご提示ください。

(事前の参加連絡は不要です。) ご参加者様については、社内で調整をお願いいたします。ご欠席の場合は研究発表会アブストラクト集をお送りします。

企業展示：募集中

協賛学会（正会員と参加費同額）：

- ・日本経営工学会（JIMA）
- ・日本品質管理学会（JSQC）
- ・日本信頼性学会（REAJ）
- ・研究・イノベーション学会（JSRPIM）
- ・日本設備管理学会（SOPE-J）
- ・経営情報学会（JASMIN）
- ・プロジェクトマネジメント学会（SPM）

参加費関連問合せ先：

OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

### ● 2018年秋季シンポジウム（第79回）

日 程：2018年9月5日（水）

場 所：名古屋市立大学

実行委員長：茨木 智（名古屋市立大学）

### ● 2018年秋季研究発表会

日 程：2018年9月6日（木）～7日（金）

場 所：名古屋市立大学

実行委員長：田地宏一（名古屋大学）

### ● 研究部会・グループ開催案内

〔評価のOR〕

・第78回

日 時：2018年1月20日（土）13:30～16:30

場 所：東京理科大富士見校舎F602号室

（千代田区富士見1-11-2）

テーマと講師：

- (1) 「Technological change and Productivity growth in the Japanese Non-Life Insurance Industry: A Quadratic Spline Function Approach」  
中岡孝剛（近畿大学）
- (2) 「英国のインセンティブ規制における配電事業者の効率性の評価」  
澤部まどか（電力中央研究所）

問合せ先：廣津信義（順天堂大学）

TEL: 0476-98-1001 (ex.352)

E-mail: nhirotsu@juntendo.ac.jp

〔システム信頼性〕

部会 URL：https://sigrel.wordpress.com/

・新春特別講演会

日 時：2018年1月20日（土）15:00～16:00

場 所：NATULUCK 飯田橋東口店

（JR飯田橋駅徒歩2分）

テーマと講師：

「粘菌の賢い戦略と数理モデル」

伊藤賢太郎（法政大学生命科学部）

真正粘菌変形体は巨大なアメーバ状の単細胞生物であり、その体全体を使った情報処理についてはここ十年来多くの研究が行われている。本講演では粘菌が生み出す管ネットワークを、輸送網という観点から鉄道網と比較した過去の研究を紹介するとともに、粘菌の餌探索戦略について調べた近年の実験、及びその数理モデルについて紹介する。

情報交換会：開催予定

事前連絡：必要（web参照）

詳 細：https://sigrel.wordpress.com

問合せ先：幹事 田村信幸（法政大学）

E-mail: tamura@hosei.ac.jp

〔意志決定法〕

部会 URL：https://sites.google.com/site/decisionorsj/

・第45回（学生大会）

日 時：2018年1月23日（火）16:00～18:00

場 所：日本大学校門会館303会議室

（千代田区五番町2-6）

テーマと講師：

※学生の発表講演者を募集しています。

問合せ先：西澤一友（日本大学）

TEL: 047-474-2664

E-mail: nishizawa.kazutomo@nihon-u.ac.jp

〔危機管理と防衛のOR〕

・第8回

日 時：2018年1月26日（金）15:00～18:00

場 所：政策研究大学院大学研究会室A

（港区六本木7-22-1）

テーマと講師：

- (1) 「我が国周辺の国際情勢—最近の北朝鮮、中国の動向—平成29年度防衛白書等から」  
石塚泰久（三井住友海上火災保険(株)）
- (2) 「日本に対する脅威とは何か—国際紛争の理論と

現実]

村井友秀 (東京国際大学・国際戦略研究所)

問合せ先: 幹事 片山隆仁

E-mail: katayama@ksj.biglobe.ne.jp

## 【離散アルゴリズムの応用と理論】

部会 URL: <http://research.nii.ac.jp/~sumita/or/>

・第9回

日 時: 2018年1月26日 (金) 10:00~17:45

場 所: 京大時計台の国際交流ホールI

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r\\_y/](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_y/)

## プログラム:

10:00~10:05 開会の辞

10:05~10:45 岩田覚 (東京大学)

「重み付き線形マトロイド・パリティ」

10:45~11:00 休憩

11:00~11:25 根本俊男 (文教大学)

「参議院選挙合区に対する数理的考察」

11:25~11:55 安藤和敏 (静岡大学)

「subdominant閉路完全距離の特徴付けとそれに対する効率的なアルゴリズム」

11:55~13:40 お昼休み

13:40~14:20 室田一雄 (首都大学東京)

「凹凸関数の離散凸解析における役割」

14:20~14:50 田村明久 (慶應義塾大学)

「離散凸解析を用いたマッチングモデルの展開」

14:50~15:10 休憩

15:10~15:40 平井広志 (東京大学)

「CAT(0)空間上のアルゴリズムと最適化について」

15:40~16:10 谷川眞一 (東京大学)

「周期グラフの大域剛性」

16:10~16:30 牧野和久 (京都大学)

「正モジュラ関数の最適化」

16:30~16:50 休憩

16:50~17:40 藤重悟 (京都大学)

「最小ノルム点問題と離散最適化」

17:40~17:45 閉会の辞

WEB: <http://research.nii.ac.jp/~sumita/or/>

問合せ先: 幹事 澄田範奈 (国立情報学研究所)

E-mail: sumita@nii.ac.jp

## ● 新宿OR研究会

【第374回】

日 時: 2018年1月16日 (火) 12:00~14:00

講 師: 伊東映仁 (Moudit consulting 代表)

テーマ: 公的機関における内部監査とジップの経験則の活用について

場 所: OR学会事務局会議室

(千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F)

<http://www.orsj.or.jp/members/inquiry2.html>

参加費: 2,000円 (昼食代を含みます。事前にメールにてお申込みください。)

問合せ先: 日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

## ● 他学協会協賛案内

\* OR学会が、共催・協賛・後援する大会やシンポジウムの情報です。参加費など、詳しくは主催学会にお問い合わせください。

・(一社) 未踏科学技術協会 特別講演会 量子計算利用シリーズ 第1回

テーマ: 人工知能・IoT時代の量子コンピュータ、量子アニーリング、量子ニューラルネットワーク~量子ビジネスの幕開け~

日 時: 2018年2月1日 (木) 13:30~16:45

会 場: 公益社団法人日本化学会化学会館6階601会議室

WEB: [http://www.snnt.or.jp/allsws/index\\_180201.php](http://www.snnt.or.jp/allsws/index_180201.php)

・(一社) 経営情報学会 2018年春季全国研究発表大会

テーマ: ビジネス科学の再構築

開催日: 2018年3月8日 (木)・9日 (金)

会 場: 筑波大学東京キャンパス

(文京区大塚3-29-1)

WEB: [http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku-taikai/2018\\_spring/](http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku-taikai/2018_spring/)

\*\*\*\*\*

## 2017年度第4回 ORセミナー

### 『地理情報システム入門』

\*\*\*\*\*

本セミナーは2017年度第2回ORセミナーとほぼ同一の内容です。

**開催趣旨：**フリーのGISソフト「QGIS」を使って、国勢調査をはじめとする地理空間データを可視化、分析する方法を紹介します。実際の現場で、地理空間データを利用しようとする時、そもそもどのようなデータが整備されているのか、どうやってそのデータを入手するのか、など最初から躓くことも多いと思います。本セミナーは、実務や研究で地理空間データを利用しようと考えている方にとって、最適なイントロダクションとなるでしょう。事前にQGISをインストールしたパソコンをご持参いただければ、実行しながら確認できます。

(ダウンロードサイト：<http://qgis.org/ja/site/forusers/download.html>)

**日時：**2018年1月20日(土) 10:30~17:30

**場所：**南山大学 名古屋キャンパス (S棟S48室)

〒466-8673 名古屋市長和区山里町18 TEL: 052-832-3111 (代表)

名古屋市営地下鉄名城線「八事日赤」駅1番出口より徒歩8分

名古屋市営地下鉄鶴舞線「いりなか」駅1番出口より徒歩15分

交通アクセス：<http://www.nanzan-u.ac.jp/Information/access.html>

**コーディネーター・司会：**中央大学 鳥海重喜

**講師：**東京大学 貞広幸雄, 東京海洋大学 渡部大輔, 中央大学 鳥海重喜

**定員：**60名 (定員になり次第締め切らせていただきます。)

**プログラム：**(敬称略)

10:30~10:35 **開催の挨拶** (司会：鳥海)

10:35~11:20 (S1) **『地理情報システムの概略』** (講師：貞広)

地理情報システムとは? / 地理情報システムでできること / 活用事例

11:25~12:10 (S2) **『地理空間データの基礎知識』** (講師：貞広)

測地系・座標系 / データモデル / 標準地域メッシュ

13:00~14:10 (S3) **『QGIS入門』** (講師：渡部)

基本的な操作方法 / 国勢調査データの入手 / 可視化

14:20~15:30 (S4) **『QGISによる空間解析』** (講師：渡部)

検索・集計 / バッファ分析 / ボロノイ図 / レイヤー分析

15:40~16:25 (S5) **『QGISによる総合演習』** (講師：渡部)

ストーリー仕立て (例えば、防災) の演習

16:35~17:05 (S6) **『地理情報システムの活用事例』** (講師：貞広)

地理情報システムを活用した事例研究の紹介

17:05~17:25 (S7) **『地理情報システムとOR』** (講師：鳥海)

ORの分野で地理情報システムがどう役立つか

17:25~17:30 **閉会の挨拶** (司会：鳥海)

アンケート記入

**参加費 (テキスト代込み)：**正・賛助会員 (協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 1,500円, 非会員 20,000円。

**ORセミナー参加者特典：**正会員でない賛助会員および非会員 / 学生非会員は、入会金無料で入会でき (それぞれ正会員 / 学生会員となる), 2017年度と2018年度の年会費は免除されます。

**申込方法：**メールタイトル「第4回ORセミナー参加申込」として、お名前、ご所属先、正会員 / 学生会員 / 賛助会員 / 協賛学会員 / 非会員、お支払予定日を記入してください。ご所属先宛の請求書が必要な場合、その旨お書きください。メール送信先：日本OR学会事務局 E-mail: [jimukyoku@orsj.or.jp](mailto:jimukyoku@orsj.or.jp)

**申込およびお振込み締切：**2018年1月12日 (金)

**振込先：**みずほ銀行：根津支店 (店番号235) 普通1530801

**口座名：**公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

**協賛学会 (正会員と参加費同額)：**日本経営工学会 (JIMA), 日本品質管理学会 (JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・イノベーション学会 (Jsrpim), 日本設備管理学会 (SOPE-J), 経営情報学会 (JASMIN), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

\*詳しくは、OR学会WEB <http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html> をご参照ください。

\*\*\*\*\*

## 2018年度「研究者海外研修支援事業」派遣者募集について

\*\*\*\*\*

国際委員会

日本オペレーションズ・リサーチ学会では2017年度に引き続き、標記支援事業を開始します。

### 【概要】

- ・海外の研究拠点に長期滞在経験のないOR研究者が、海外のOR研究拠点に中長期間滞在し共同研究活動を開始するための助成を行います。
- ・単発の国際会議発表に対する助成ではありません。

### 【背景と目的】

オペレーションズ・リサーチ（OR）の方法論に対する探求は、研究活動を国際的に展開することで一層の発展が期待できます。その上で国際的な研究ネットワークに入り込んでいくことが必要になりますが、そのためには少なくとも1ヶ月以上といった一定期間海外の研究拠点に滞在し、海外の研究者と直接的に知り合い共同研究に繋げるなど、継続的に交流するきっかけを持つことが重要です。また、とりわけ日本国内で博士号を取得した後数年間は、自らのテーマを確立していく上で難しい期間となる傾向があり、視野を広げる上でも国際的な舞台に出て共同研究者を見つけることは有効な手段となりえます。

そのような状況を念頭におき、本事業は、これまで海外のOR研究機関に滞在した経験のないORの研究者に対し、海外での共同研究拠点を築き国際的な研究者ネットワークに入り込んでいくための支援を行うことを目的とします。

本事業がこれまでの支援事業と異なるのは、国際会議などで単発の研究発表などを行うための資金援助ではなく、有望な研究者が1ヶ月程度以上、ORあるいはそれに関連する海外の研究拠点に滞在し、国際的な人的ネットワーク構築する活動を支援する点にあります。

このような人的なネットワークは、助成対象者個人にとって資するばかりでなく、長期的には学会全体の国際的交流の幅の拡大に資するものと期待しています。また有望な人材を選抜し海外に送り出すことは、日本のORの存在感を高めることにも繋がると期待しています。

### 【募集概要】

以下の要領で支援対象者の募集を行います。

募集定員：2名

支援内容：1名につき50万円支給

研修期間：2018年度中の開始（出発日が2019年2月末日以前）で、出発日から帰国日までが4週間以上

募集締切：2018年1月9日（火）

（その後国際委員会内で選抜を行い、1月下旬の理事会での承認（決定）を予定）

応募方法：【申請書類】の項の内容を記した電子ファイルを電子メール添付にて事務局（jimukyoku@orsj.or.jp）宛てに送付（題目は「OR学会海外研修支援応募」としてください）

宛てに送付（題目は「OR学会海外研修支援応募」としてください）

応募要件：

- ・上記研修期間に海外のORおよび関連分野の拠点機関に滞在し、ORに関する共同研究活動に専念する意思があること
- ・応募時点で博士号を取得済みであること

- ・これまで海外の研究拠点におよそ2週間以上滞在して共同研究を行った経験がない、かつ、他の類似・予算（在外研究予算など）を受けていないこと
- ・渡航前までにある程度英語でのコミュニケーションを担保できること

この他、研修期間終了後、航空券の領収書などの提出、OR学会機関誌上での体験記の寄稿、（この援助により始めた（共同）研究について）研究口頭・論文発表での援助の明記、研究口頭発表での学会ロゴの使用を派遣対象者の要件とします。

### 【申請書類】

応募する場合は以下の項目を記入した申請書電子ファイルを、学会事務局まで電子メール添付で提出してください。申請に基づき国際委員会で審査します。選抜に際し応募者の共同研究実行可能性と将来性を重視します。申請時点での受け入れ先の内諾は必ずしも要しません。

- ・申請者情報（氏名、所属、電子メールアドレス、会員番号（OR学会員のみ記載））
- ・滞在計画（希望する派遣先研究機関、受入研究者、おおよその滞在期間など）
- ・滞在中の達成目標（滞在中に目指すこと）および準備状況
- ・研究業績一覧（発表論文、国際会議・国内会議発表等。査読有無についても記すこと）
- ・英語のコミュニケーション能力に関する情報、国際会議参加経験、海外研究者との共同研究の経験など
- ・参照人の連絡先（氏名、所属、電子メールアドレス（または電話番号））
- ・応募要件を満たしていることの確認
- ・[参考情報] 交渉状況（滞在予定先との関係・受け入れ内諾など）

※ 応募時点での受け入れ内諾は応募の際の要件ではなく、あくまでも参考情報です。

なお、学会ウェブサイトより申請書の雛形ファイル（Microsoft Word docx ファイル）が利用可能です。

### 【FAQ】

- ・他の研究費予算との合算は可能ですか？  
もしその予算が在外費用補助を目的とする場合、不可能です。本事業は、国際的な共同研究機会の少ない研究者に新たな海外研修の機会を提供することを目的としているので、同様の目的の資金を得ている方を対象としません。一方で他の外部予算（たとえば科研費など）が認める場合で、かつ、合算して利用する予定の場合には、申請書にその概要（期間の分割計画など）を記載してください。
- ・複数の機関に滞在することも可能ですか？  
少なくとも1機関に2週間以上滞在する場合には認めます。ただし、支給額に変更はありません。
- ・応募に際し、滞在を希望する機関、あるいは、ホスト（受け入れ教員など）の事前の受け入れ承認は必要ですか？  
必須ではありません。ただし、もしその当てがある場合には「参考情報」として申請書にそれを記載してください。

\*\*\*\*\*

## 2017年度待ち行列シンポジウム「確率モデルとその応用」

\*\*\*\*\*

2018年1月17日(水)~19日(金)

大阪大学会館アセンブリーホール(大阪府豊中市)

質疑応答5分を含め一般1人あたり30分, 学生1人あたり25分, ショート1人あたり20分

\*=発表者(複数著者の場合)

\*\*\*\*\*

### 1月17日(水)

14:00 開会にあたって 塩田茂雄(千葉大学)

#### Session W1 (14:10~15:40) 一般セッション 座長: 増山博之(京都大学)

14:10 A Note on Quantitative Security Evaluation of VM-Based Intrusion Tolerant Systems with MAP  
Zheng Junjun, \*岡村寛之, 土肥 正(広島大学)

14:40 Congestion Control for a System with Parallel Stations and Homogeneous Customers using Priority Passes  
\*増田 靖(慶應義塾大学), 辻 暁(キヤノン)

15:10 物理対経済体のサンドイッチ場考: 待ち行列法によるペアマップ仮説と波動方程式化例  
松井正之(神奈川大学)

#### Session W2 (16:05~17:35) 一般セッション 座長: 笠原正治(奈良先端科学技術大学院大学)

16:05 Cross Moments Approaches for Mean-Bounded Finite Random Classes  
高田寛之(長崎大学)

16:35 Distribution of the waiting and service time in an M/M/m preemptive-resume priority queue with impatient customers  
高木英明(筑波大学)

17:05 A Toy Model of Preferentially-Attached Networks with Break-Ups  
\*豊泉 洋, 下邨貴裕(早稲田大学)

懇親会(18:00~20:00) 司会: 増山博之(京都大学)

### 1月18日(木)

#### Session T1 (9:30~11:10) 学生セッション 座長: 岸 康人(松蔭大学)

9:30 レベル依存するG/G/1型マルコフ連鎖における条件付き定常分布の誤差評価付き数値計算法  
\*木村雅俊, 滝根哲哉(大阪大学)

9:55 パケットフローとクロストラフィックを考慮したSDNの待ち行列モデルとその解析  
\*牛垣龍一(東京工業大学), フン ドック トゥアン(筑波大学), 河西憲一(群馬大学), Yuan-Cheng Lai (National Taiwan University of Science and Technology), Ying-Dar Lin (National Chiao Tung University)

10:20 着陸待ち行列  
\*石井宏明, 佐藤真史, 佐藤 賢, 豊泉 洋(早稲田大学)

10:45 Cooperation areaを考慮した通信性能の評価  
原口昌太(東京工業大学)

**Session T2 (11:35~12:35) ショートペーパーセッション 座長：井家 敦 (神奈川工科大学)**

- 11:35 エスカレーターは歩くべきか、止まるべきか  
\*鶴田裕太郎, 豊泉 洋 (早稲田大学)
- 11:55 雀荘における待ち行列に関する考察  
\*井手広康, 奥田隆史 (愛知県立大学)
- 12:15 Markov chainを用いたテニスプレイヤーの分類  
\*大久保幸美, 豊泉 洋 (早稲田大学)

12:35~14:05 昼休み

**Session T3 (14:05~15:20) 学生セッション 座長：フンドックトゥアン (筑波大学)**

- 14:05 移動体のデータレート解析手法  
徳山喜一 (東京工業大学)
- 14:30 リードタイムが一般の分布に従う, 在庫管理システムの解析  
高木 秀 (東京工業大学)
- 14:55 GI/M<sup>b</sup>/1 モデルによるビットコイン・トランザクション承認時間解析  
\*河瀬良亮, 笠原正治 (奈良先端科学技術大学院大学)

**Session T4 (15:45~17:25) 学生セッション 座長：木村達明 (NTT)**

- 15:45 Probabilistic model checking for biochemical reaction systems  
\*Ty Ratana, 藤田憲悦, 河西憲一 (群馬大学)
- 16:10 複合ポアソン過程を用いた企業価値のモデル化とリスク評価  
井田倫宏 (東京工業大学)
- 16:35 サーバブロックの起動時間を持つデータセンターの待ち行列モデルによる性能解析  
\*日出山慎人, フンドック トゥアン (筑波大学)
- 17:00 マルコフ型集団到着過程と裾の軽いサービス分布を持つ無限サーバ待ち行列の安定性の十分条件  
\*矢島萌子 (東京工業大学), フンドックトゥアン (筑波大学), 増山博之 (京都大学)

**1月19日 (金)****Session F1 (9:30~11:10) 学生セッション 座長：河西憲一 (群馬大学)**

- 9:30 BGPネットワークの障害状況のマッピング  
\*伊藤翔馬, 小林 香 (富山県立大学)
- 9:55 行列式点過程が作る無線干渉場の巨視的極限  
\*油山拓生, 三好直人 (東京工業大学)
- 10:20 BGPデータを用いたネットワーク障害のパターン分類  
\*奥寺 諒, 小林 香 (富山県立大学)
- 10:45 Ginibre cluster process and its application to device-to-device networks  
\*小林拓矢, 三好直人 (東京工業大学)

**Session F2 (11:35~12:35) ショートペーパーセッション 座長：加藤憲一 (神奈川大学)**

- 11:35 2次元反射型ランダムウォークにおける定常分布の母関数の収束領域：解析的証明  
\*小林正弘 (東海大学), 宮沢政清 (東京理科大学), 小沢利久 (駒澤大学)
- 11:55 連続時間非斉時マルコフ連鎖の特別なクラスに対する一様化法  
井上文彰 (大阪大学)
- 12:15 強相関近似による複雑ネットワーク上の情報拡散過程の解析  
\*南川雅人, 中島圭佑, 塩田茂雄 (千葉大学)
- 12:35 待ち行列研究会部会研究奨励賞受賞者発表塩田茂雄 (千葉大学)  
閉会にあたって 笠原正治 (奈良先端科学技術大学院大学)

**2018年度年会費納入のお願い**

2018年度（2018年3月1日～2019年2月28日）年会費の請求書を11月に発送しました。このようちよの支払取扱票は、2018年1月以降もご使用可能です。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名+個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

**年会費専用振込み口座**

みずほ銀行	根津支店（店番号235）普通1124744 口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会 （株）ニホンオペレーションズリサーチ がっかい
郵便振替口座	00190-6-79492 口座名：公社）日本オペレーションズ リサーチ学会
ゆうちょ銀行	〇一九（ゼロイチキユウ）（店番号019） 当座 0079492 口座名：公社）日本オペレーションズ リサーチ学会

年会費（不課税） 正会員14,400円  
学生会員5,000円  
シニア会員7,200円  
\*手数料は払込人様ご負担をお願いします。  
\*お名前はフルネームでお書きください。

**シニア会員について**

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

**特別会員について**

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

**年会費の口座振替（正会員）**

年会費自動振替の方は2018年1月22日に「2018年度年会費」を引き落としの予定です。

**2018年3月ご卒業の学生会員の方へ**

- 1) ご就職により正会員として会員継続希望の方へ**  
新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所、連絡先メールアドレス（所属先／自宅）および、OR誌送付先（所属先／自宅）を事務局にお知らせください。  
2018年度の会費はそのままです。2018年11月に2019年度正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。
- 2) 退会希望の方へ**  
退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。

**学生会員年会費無料化キャンペーン**

OR学会では学会活性化の一環として、2013年度から開始した「学生会員年会費無料化キャンペーン」を継続中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

- ①WEBからの入会申込み
- ②入会金600円のお振込み
- ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

**OR学会事務局**

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5  
サン・チカビル7F  
TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

\*各種お届けは、メールにてご連絡ください。

（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先等の変更、退会届）

会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。